

【コミュニティ・レストラン（地域食堂）の運営】

（平成27年2月～「ふれあい食堂いこい」北斗市本郷地区で事業開始）

★取組みについて

地域包括ケアシステムを構築するための「地域拠点」、社会福祉法人の本旨である公益的な取組みとして、次の機能を持った拠点を創設し、事業展開した。

- ① コミュニティ・レストラン（地域食堂）の機能を活用した地域包括ケアシステムの拠点
- ② 相談機能：専門職（社会福祉士）を配置し、様々な相談に応じる
- ③ 地域交流機能：各種団体との協力、地域住民が参加・活動できる場所
- ④ 調理ボランティア活動や地域住民が使える“掲示板・棚”を設置し、地域の方々が参加・活動しやすい環境

介護予防の実施（介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスBの実施 平成29年10月～）

★取組みを行って

- ・週3回（月水金）30食の日替わりランチを提供（300円/食）
- ・コーヒー（ホット・アイス）を100円で提供（お替り自由）
- ・地域の方が利用できる掲示板・作品展示の棚を設置
- ・専門の相談員を配置（社会福祉士）
- ・ボランティア（調理）としての社会参加の場を提供
- ・地域交流スペースによる各種教室・趣味活動の場を無料提供し、定期的に利用いただいている
- ・各種イベントを実施（他団体によるランチ提供・季節の行事・いこい祭り・サロン・野菜販売など）
- ・2018年度は、年間延べ利用者6千人以上となりました



※地域の方々（子供からお年寄りまで）が集う場所として利用者が増えてきました。（新たなネットワークの構築）

※地域の「互助」を作る取組みも実践しております。（地域会議）

【地域食堂（子ども食堂）】

★取組みについて

地域の子どもの居場所づくりと高齢者との世代間交流を図り、「食を通じた地域の支え合い」を目指している。

★取組みを行って

家庭における共食の機会が減少し、一人暮らし高齢者が増加する中で、栄養バランスが良い食事を提供し、温かな団らんの機会を提供することを目的に、だれでも参加可能で、子供が一人でも安心して来ることのできる食堂、独居高齢者で、ひとりでの食事より、多くの人とあたたかい食事ができる食堂、合席を原則として、地域のコミュニケーションを提供する食堂の運営に取り組んでいます。

成果としては、

- 1 地域の子ども、高齢者の参加が非常に増えてきている。
- 2 子ども達に「認知症サポーター養成事業」を実施し、認知症高齢者に対する理解を深められている。
- 3 地域町内会の方々が、運営に協力をしてくれている。



【無料パン教室、低料金での朝食バイキングの提供】

★取組みについて

月に一度、希望者を募集し、無料パン教室を開催している（要事前予約、一人につき年一回まで）。また、平日（月曜から金曜まで）の朝6時半から8時半まで低料金（30分、一人税込み200円、未就学児童は無料）でパンの食べ放題を実施している。

★取組みを行って

苫小牧地区では、施設の持つ人的物的資源とパン製造のノウハウを元に地域住民へ施設の認知度の向上と障がいのある方との交流を推進する目的で無料のパン教室を開始した。朝食バイキングは、安価で地域住民にパンを提供し食品ロスを削減すると共に、施設のPRを兼ねる取組として開始した。

【裏めし屋（地域向け食堂）】

★取組みについて

3年前に開設した、地域密着型特養、小規模多機能の地域交流スペースを通して、地域の方に知って頂き、顔なじみの関係を作る為、月1回地域食堂として始めた取り組みです。

★取組みを行って

地域食堂として、周辺の高齢者に利用してもらい、話しをするなどの関わりをもちたかったが、若い方々の利用も多くなり、多世代の交流につながったが、その一方でゆったりとした雰囲気の中で関わるのが難しくなった。